

神田外語大学言語科学研究科 公開講座

オンライン開催

学術的な文章作成に必要な
技能、教育、支援
—複数テキスト理解を伴う作文に
関する研究をもとにして—

講師：西 菜穂子

神田外語大学アカデミックサクセスセンター准教授

同日13:30～14:30に本学大学院説明会を開催
いたします。詳しくは下記URLまたはQRコード
より、ホームページをご覧ください。

＜神田外語大学大学院 入試説明会＞

<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/opencampus/extension/>



お問合せ（教務部大学院入試担当）

MAIL:infograd-kuis@ml.kandagaigo.ac.jp

TEL:043-273-1320

12/6

（土）

15:00-16:30

お申込み

下記URLまたはQRコードよりお申し込みください。申込期間終了後にご登録のメールアドレス宛に接続先等の詳細をご案内します。ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。ご参加を心よりお待ちしております。

<https://forms.gle/pU6DNv4APFF147obA>



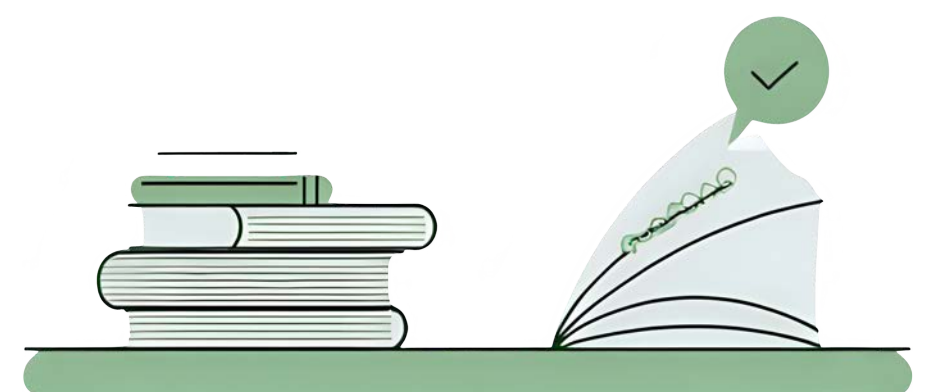
お申込期限 12/2（火）

講演要旨

私たちは文章を書くとき、過去に触れてきた文章を始めとして、様々な知識や経験を用い、それらを統合してテキストにしています。そして、学術的文章の作成について考えてみると、複数の情報源を読み解き、比較し、再構成して文章化するという複合的な技能が必要です。

本講座では「読むこと」と「書くこと」を含む文章作成プロセスについて、読解研究と作文研究の接合領域である、複数テキスト理解を伴う文章作成に関するL1／L2研究の知見をもとに考えます。このプロセスには、社会的な要因、認知的な要因、課題遂行に関わる要因などが関係します。また、L2で書く場合にL1で培った知識や方略が活かされること、分野の知識や執筆経験が文章の質に影響することなどの研究成果から、研究と教育との繋がりも見えてきそうです。

加えて、講演者が携わるライティングセンターでの支援についても触れ、AI社会が加速し、情報があふれる現代社会における学術的文章の指導・支援の在り方についても考えてみたいと思います。



講師プロフィール

西 菜穂子 (NISHI, Naoko)

神田外語大学アカデミックサクセスセンター准教授

神田外語大学にて、日本語を対象とした文章作成支援などに携わる（ASC日本語ライティングセンター）。大学院での担当科目は「日本語学術文章作成技術」。主な研究分野は、第二言語習得（作文）、学習支援、日本語教育。博士（言語学）。

主な業績：

「神田外語大学における日本語ライティング支援の現状と課題—ASC日本語ライティングセンターの取り組み—」『神田外語大学紀要』36（2024・共著）、「複数テキストからの情報の再構築—大学院生を対象とした事例研究—」『言語科学研究』27（2021・共著）、「タスクと言語背景が作文の産出過程、および、言語的特徴に与える効果—日本語母語話者と日本語学習者の比較から—」神田外語大学博士論文（2021）、「論文執筆を通じた書き手の成長—ライティングセンターでの支援を効果的に活用した事例から—」JADE第14回全国大会（2018・単独発表）、「学習過程の言語化が第二言語習得に与える効果—ランゲージング研究の現状と動向—」『第二言語としての日本語の習得研究』20（2017・単著）、「タスクとテキストタイプがL2作文の言語分析に与える効果」『Scientific Approaches to Language』10（2011・単著）